「楽天イーグルス杯ゼビオキッズベースボール大会」9 人制ルール

（楽天イーグルス・ルール）

■キッズベースボール大会　大会規則　－試合方法に関する事項－

1）下記特別ルール以外は野球規則とする。

2）試合は基本 2 イニングとする。

3）攻撃はティーボール形式とし、1 番から 9 番まで連続で攻撃を行い、最終 9 番打者のプレーが終了するまでの総点数をイニングの得点とする。

4）攻撃開始は、1 塁 9 番打者・2 塁 8 番打者・3 塁 7 番打者と塁を埋めた状態より始める。

5）各イニングの 9 番最終打者の攻撃時は通常の野球ルールの 2 アウトの設定で行う。

6）走者の離塁は、概ね打者のスイングがホームベース上に通過する頃より行なうこと。

7）空振り、三振は無しとする。

8）守備側が本塁ベース上でボールを頭上に上げ、アピールをした場合に審判はボールデッドを宣告する。宣告時に塁間にいる選手は、元の塁に戻り試合を再開する。但し、3 塁ランナーがいる場合は適用を除外し、タッチアウト・フォースアウトを優先してプレーを行い、当該するランナーが進塁の意思が無いと判断した場合ボールデッドを認める。

9）競技場区画線は学童の部規格とし、打撃ティースタンドをホームベースより 3mピッチャーマウンド側に設置する。尚、外野の距離は 60m程度とする。

10）ホームベースよりダイヤモンド内に半径 8mのラインを引き、円内の打球はファールボールとする。

11）ホームベース後方ボールデッドラインは、ホームベースより半径 8mのライン、また 1・3 塁線に平行に 8m引いたラインをボールデッドラインとする。8mのデットラインよりボールが出た場合は全てテイクワンベースとする。

12）アピールは監督のみとする。

13）グラウンド特別ルールは、大会審判役員において決定する。

14）ブロックごとにリンク戦を行う。各ブロック 1 位の勝率が同じ場合は得失点の多い方を勝ちとする。勝率、得失点それぞれが同じ場合は抽選で勝敗を決定する。

■競技運営に関する注意事項

1）ベンチは組合せ番号の若い方を 1 塁側とする。

2）試合をスピーディに行う為、選手の攻守交代はかけ足で行うこと。

■審判に関する事項

1）主審は、楽天イーグルス認定審判員とする。

2）記録員・塁審は参加チーム帯同とし、組み合わせ番号の若い方が記録員・2 塁、他方が 1 塁・3 塁とする。